

株式会社 ココルポート

事業説明資料

【証券コード:9346】



1. 事業概要

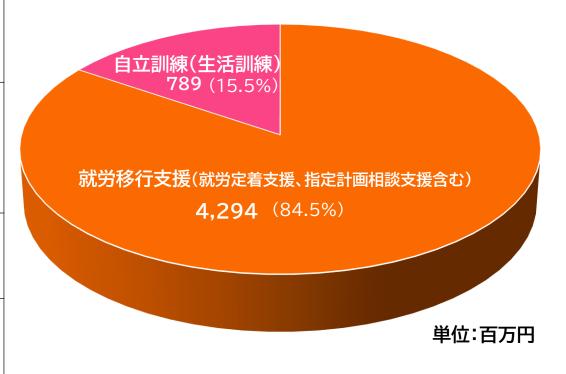
サービス内容



障害者総合支援法に定められた、以下の指定障害福祉サービスを提供

サービス名	サービス内容
■ 就労 移行支援	障がいのある方が就労に向けたトレーニングを行い、働くために必要な知識やスキルを習得し、就職後も職場に定着できるサポートを行うサービスであります。
■ 就労 定着支援	一般就労をしている <mark>障がいのある方が長く職場に定着</mark> できるよう、障がいのある方との相談を通じて生活面の課題を把握するとともに、企業や関係機関等との連絡調整やそれに伴う課題解決に向けて必要となる支援を行うサービスであります。
■ 指定計画 相談支援	障がいのある方が自分らしく生活していくために 福祉サービス利用についての相談と目標に合わせ た計画を作成するサービスであります。
■ 自立訓練 (生活訓練)	障がいのある方が自立した日常生活や社会生活がおくれるよう、生活能力の維持・向上のための訓練や助言などのサポートを行うサービスであります。対象者は就労移行前段階の方を想定。

2023年6月期サービス別売上



2012年の創業来、"指定障害福祉サービス事業"を展開



Cocorport

株式会社ココルポート (Cocorport, Inc.)

CO(コ)は英語の「一緒に、共に」。 COR(コル)はラテン語で「心、気持ち」。 PORT(ポート)は英語の「港」。

- ◆ 設立 2012年1月5日
- ◆ 事業内容 障害者総合支援法に基づく

障害福祉サービス事業

- ◆ 本社 神奈川県川崎市川崎区
- ◆ 従業員数※1 742人

サービス別事業所の状況※1※2

(単位:拠点)	神奈川	埼玉	東京	千葉	その他
就労移行 支援 ^{※3} (61)	19 (16)	14 (12)	14 (13)	12 (11)	15 (9)
自立訓練 ※4 31	11	7	3	7	3













- ※1 2024年6月末時点(プレオープン含む)
- ※3 括弧書きの数値は、内数で就労定着支援併設の事業所数
- ※2 本表以外に指定計画相談支援事業所5拠点
- ※4 2024年3月4日からプレオープンした「Cocorport Rework 船橋」含む



2.業界展望

市場環境について(障がい者数推移)



■ 障がい者数は、約1,160万人と過去最高を更新(直近5年間で精神障がい者数は56%増加) ※当社ご利用者様の約80%は精神障がいのある方(発達障がい含む)

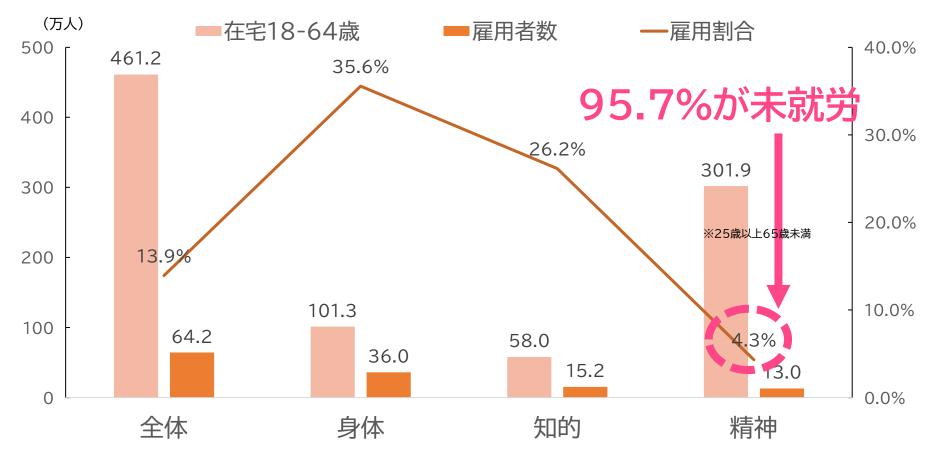


出典:厚生労働省「障害者数の推移」と内閣府「2023年版 障害者白書」より当社作成

当社サービスの潜在顧客が多い市場環境(障がい者一般就労状況) 🛞 Cocorport



- (メインターゲットである)精神障がいのある方のほとんどが未就労。
- ⇒当社サービスのご利用者様になりうる方が多く存在(潜在顧客が多い) ※当社ご利用者様の約80%は精神障がい(発達障がい含む)

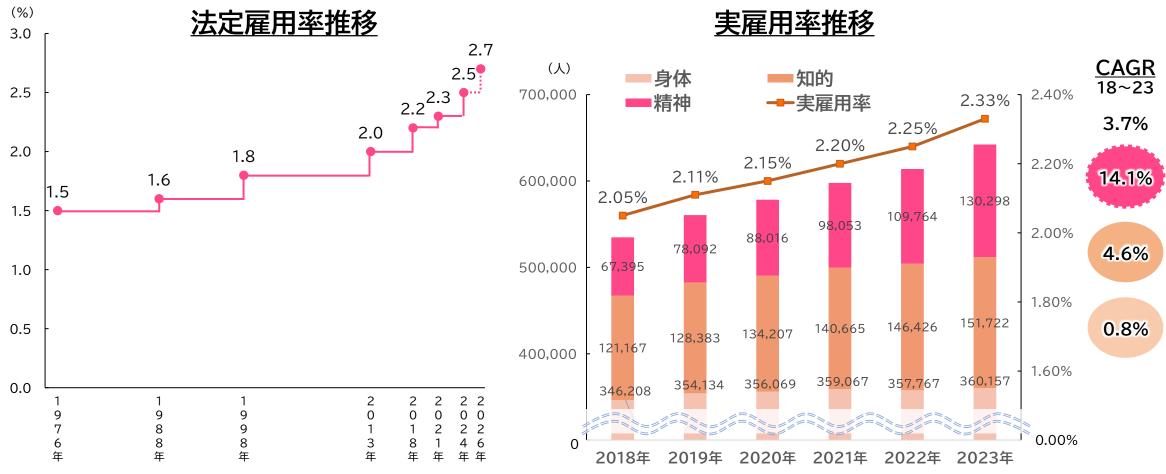


出典:内閣府「2023年版 障害者白書」 厚生労働省「2023年 障害者雇用状況の集計結果」より当社作成

法定雇用率の上昇が障がい者雇用ニーズの増加へ



■ 直近発表された法定雇用率は過去最大の引き上げ(2024年:2.5% 2026年:2.7%) ⇒今後も求人ニーズは上昇することが予測される⇒就労移行支援ニーズは高止まり



出典:厚生労働省「障害者雇用状況の集計結果」 「令和5年度からの障害者雇用率の設定等について」より当社作成

出典:厚生労働省「障害者雇用状況の集計結果」より当社作成



3.自社の強み

競争力の源泉は"福祉のあたりまえ"を徹底出来る実行力



- ・ (効率を優先することなく)愚直に「福祉の基本的な考え方」に基づき業務を遂行
- ・競合他社対比「質の高い支援力」、「顧客ターゲットの拡大」を実現

ココルポートの"あたりまえ"

福祉の基本的な考え方

集団ではなく「個別」

人は、 一人ひとり違う 指導ではなく 「支援」

ゴールは自立

幅広い 受け入れ

手を差し伸べてほしい と思う方々に手を 差し伸べる

非効率だからやらないのではなく、 どうしたらできるのかを追求 競合他社の"あたりまえ"

効率を優先した考え方

「個別」は 手間がかかる

指導の方が スピーディー "就労フェーズ" を中心に



非効率な取り組みを回避し、 効率的に遂行出来る業務に徹する

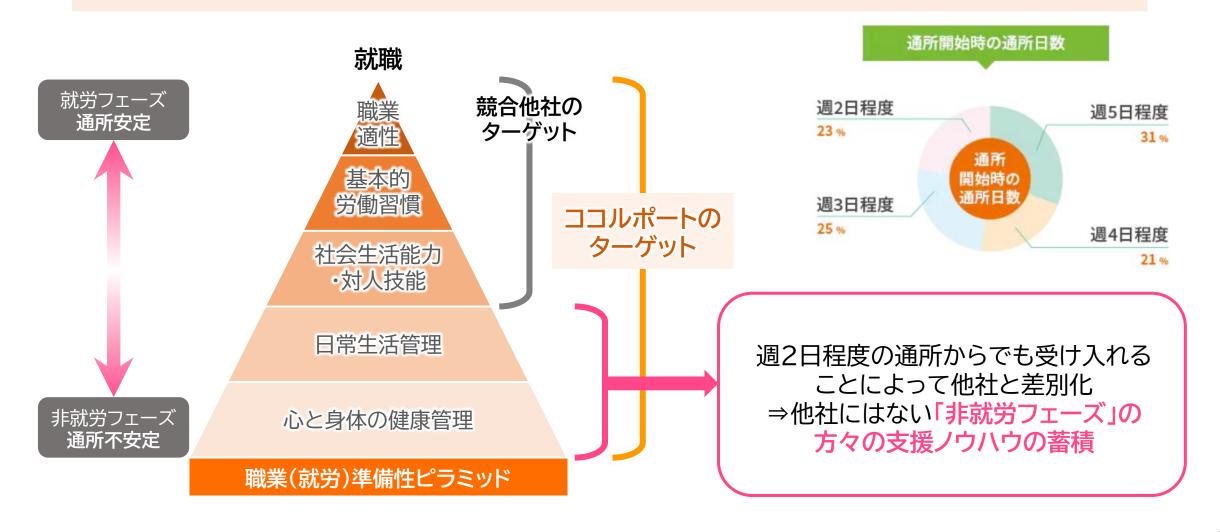
競争優位性

質の高い支援力[`] (個別支援)を実現 顧客ターゲットの 拡大を実現

「非就労フェーズ」まで幅広く受け入れ、ターゲットを拡大



- ・「非就労フェーズ」まで受け入れ、障がい者の方々が生き生きと働ける人生を支援
- ・より大きな潜在市場である「非就労フェーズ」を取り込むことに成功



『個別』と『支援』と『幅広い受け入れ』を可能にする人材



徹底した教育体制と資格取得支援制度

成長ドライ



障がい者福祉の当たり前を当たり前に行う **企業文化・風土**

教育研修

教育研修

- ◆新人研修(事業所配属前)
- ◆フォローアップ研修(入社後の約半年間)
- ◆支援の振り返り研修 (入社後1年経過時、3年以上経過時)
- ◆スキルアップ研修(セルフケア研修)
- ◆新任マネージャー研修
- ◆サービス管理責任者・マネージャー・エリアマネージャー対象研修(外部講師による人材育成に関する研修)
- ◆グロービス研修
- ◆グロービス学び放題
- ◆虐待防止研修
- ◆個人情報保護研修

動画研修

- ◆就労定着支援サービス研修「はじめての就労者支援」
- ◆計画相談支援とは
- ◆各種精神疾患等

福利厚生

福利厚生

- ◆賞与制度
- ◆半期表彰制度
- ◆ナイスチャレンジ制度
- ◆従業員持株会
- ◆資格取得支援制度
- ◆育児短時間勤務制度
- ◆育児時差出勤制度
- ◆時差出勤制度
- ◆早帰り制度「どろんカード」
- ◆子の看護・介護休暇
- ◆リフレッシュ休暇制度
- ◆手当
 - ·住宅手当(15,000円/月)
- ·扶養手当

(1人目:15,000円/月、2人目以降:5,000円/月 ※3人まで)

·資格手当:5,000円

(社会福祉士、精神保健福祉士など対象資格を1つにつき)

	人数	
福祉系	社会福祉士	104
	精神保健福祉士	70
	介護福祉士	89
	作業療法士	5
心理系	臨床心理士	4
	公認心理師	22
キャリア系	キャリアコンサルタント	32
	産業カウンセラー	24

2024年6月末時点 ※従業員数:742名

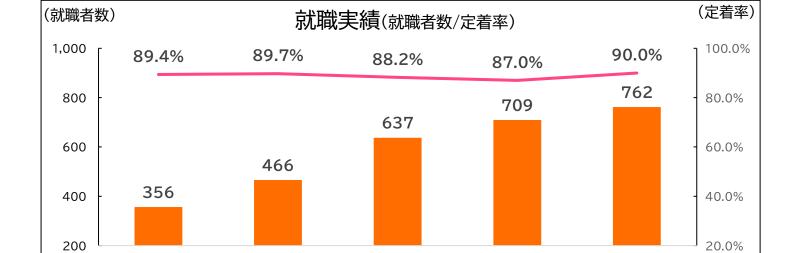
「幅広い受け入れ」を可能にする経営資源と実績



「幅広い受け入れ」を 可能にする経営資源が存在

- ① 555種類以上の多種多様 な訓練メニュー(プログラム)
- ② 多様なニーズに応える eラーニング
- ③ 週2日程度の通所からでも 就職、そして就労定着まで 導くことができる人材とノウハウ (企業文化・風土)
- ⇒非就労フェーズの方も含め て幅広く受け入れていても、 業界最高水準の就職実績





2021年度

2022年度

2019年度

2020年度

※4月~3月までの期間

2023年度※

個別支援という非効率を補う効率化⇒「ドミナント展開」



- ・「福祉の基本的な考え方」に基づいた業務遂行(非効率)のため、経営資源を効率化
- ・効率的な集客、人的資源の最大化、情報の有効活用等のメリットを意図

営業活動の効率化 (福祉特有の地域連携強化)

- 地域内の社会資源(公的機関、 医療機関、支援機関等)に対し て効率的な営業活動が可能
- その結果、域内における認知度は向上し、問い合わせは増加 (集客効果)

人的資源の最大化

- ▶「採用」の効率化
- ▶「教育」の効率化
- >「人員配置」の効率化
- > 「サポート体制」の効率化

情報の有効活用

- > スピーディーな情報流通
- ▶ ドミナント内で人材交流を促す ことで、人の異動と同時に情報 の流通も意図的に促すことが 可能



4.今後の成長戦略

一気通貫の"障害福祉サービス"の実現とそのシナジー



16

■「自立訓練(生活訓練)」「就労移行支援」「就労定着支援」というサービスを 一体として提供する体制を整えることで以下のようなシナジーが生まれる

自立訓練(生活訓練)

もともと展開している就労移行支援事業所の近くに出店することにより、既 に連携している各種関係機関や支援 学校へ効率的にアプローチ ドミナント展開 及び 一気通貫による シナジー効果 就労移行支援

自立訓練(生活訓練)サービスの卒業 生が就労移行支援事業所のご利用者 様になることで集客が効率化

2020年から開始

自立訓練(生活訓練)

生活能力の維持・向上のための 訓練や助言等のサポート

原則2年

就労移行支援

就労に向けたトレーニング等

原則2年



就労足看支援

職場定着支援

就労6ヶ月経過後3年

集容

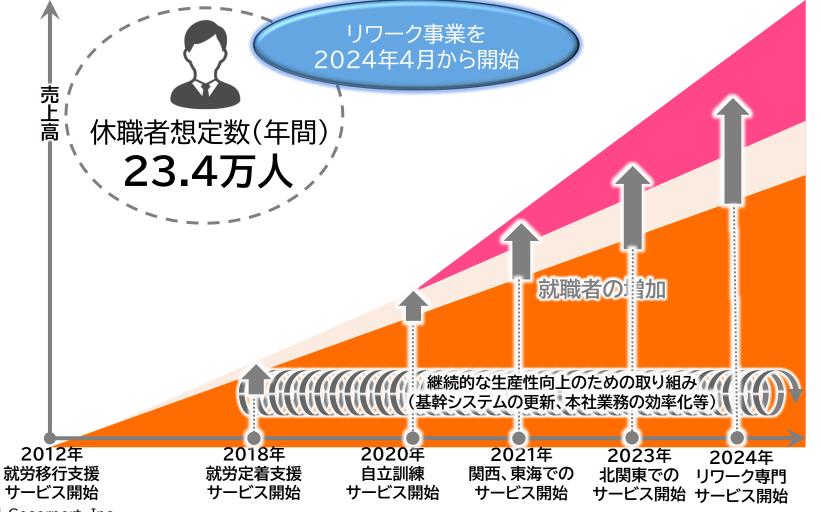
集客

各種サービスを一気通貫提供することで、域内各種支援機関等からの認知度が向上

今後の成長イメージと成長を牽引する各種施策



- ・市場拡大を追い風に、当面足許の成長スピードを堅持
- ・「質の高い支援」に基づく就労移行支援事業所開設、周辺サービスへの展開

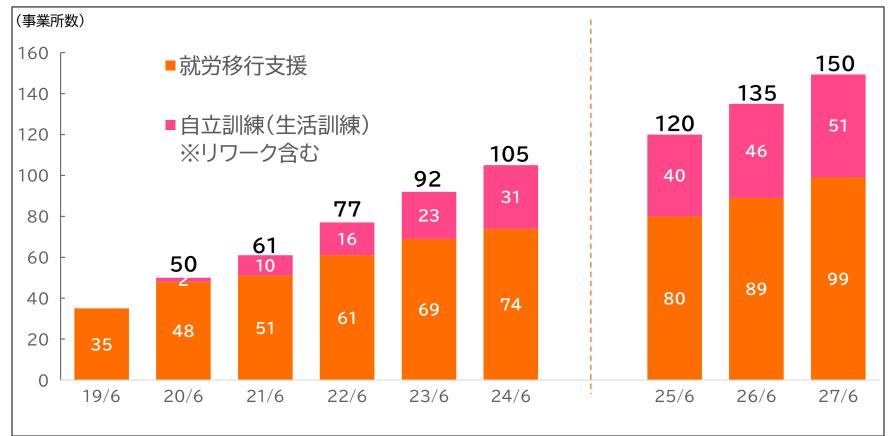


- 3 自立訓練(生活訓練) 事業所の拡大 (24年からリワーク専門含む)
- 就職者増加への対応 による、就労定着支援 サービス提供拡大
- 1 新たなドミナントも 合わせた、就労移行支援 事業所の拡大

成長戦略



- 105拠点(24/6期末)から150拠点(27/6期末)に拡大
 - ・就労移行支援事業所は74拠点(24/6期末)から99拠点(27/6期末)
 - ・自立訓練(生活訓練)事業所は31拠点(24/6期末)から51拠点(27/6期末)





ご清聴 ありがとうございました



<企業理念> 私たちは一人ひとりの可能性を信じ、 自分らしさと笑顔あふれる社会を共創します。